

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 3 月 24 日

【評価実施概要】

事業所番号	3870103003		
法人名	株式会社 ユニケア		
事業所名	グループホーム クレセント堀江		
所在地	松山市堀江町甲844-6 (電話) 089-978-2899		
管理者	二宮 美保		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 20 年 2 月 5 日	評価確定日	平成 20 年 3 月 24 日

【情報提供票より】 (平成 20 年 1 月 7 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 1 月 3 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤	3 人, 非常勤 7 人, 常勤換算 人

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,375 円	その他の経費(月額)	6,000 円
敷金	有()円 ○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円 ○ 無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	300 円	昼食 300 円
	夕食	300 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(3) 利用者の概要 (平成 20 年 2 月 5 日事業所記入)

利用者人数	9 名	男性	3 名	女性	6 名
要介護 1	3 名		要介護 2	3 名	
要介護 3	名		要介護 4	2 名	
要介護 5	1 名		要支援 2	名	
年齢	平均 78.5 歳	最低 62 歳	最高	89 歳	

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

海岸近くの静かな環境にある3階建ての1階部分がホームである。管理者及び職員は、理念に基づいて利用者の日々の暮らしを支えている。ホーム内にはリハビリテーション用機器も設置されており、医師や理学療法士の指導で機能訓練も行われている。利用者は機器を使ったり、散歩したり、自分の楽しみごとをしたりと、自分のペースで過ごしている。また、小学生や保育園児との交流もあり、「まもるくんの家」にも指定されている。ホーム内にはAED(自動体外式除細動器)も設置され、職員は取り扱いも習得している。町内会に加入し、地域との交流も

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)
理念を分かりやすいように具体化する、アセスメントシートなどの記録を見直してホーム独自の分かりやすいものとする、事故報告書とヒヤリハット報告書に分けて記録方法を改善する、公的苦情相談窓口の連絡先を明記する、夜間も想定した防災訓練を行う、など改善に積極的に取り組んでいる。
▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
今回の自己評価については、管理者が職員に聞いてまとめ、まとめた自己評価を職員に伝えている。
▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
会議には利用者及び家族、地域住民、地域包括支援センターの職員などが参加している。議題として、ホームの利用者やホームの状況及び行事内容の報告、提案された議題についてなどの話し合いを行い、出された意見をサービスの向上に活かしている。
▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
重要事項説明書にホーム内及び公的な苦情相談窓口を明記している。また家族の訪問時にも話を聞いたり、ホームの玄関にも意見箱を設置し、意見を出力してもらえるようにしている。
▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
ホームは町内会に加入し、地域行事(運動会、秋祭りなど)に参加したり、地域の清掃をするなど、地域住民としての役割も担っている。地域住民にもホーム行事に参加してもらっている。また小学生や保育園児との交流もあり、まもるくんの家にも指定されている。AED(自動体外式除細動器)も設置しており24時間貸し出しが可能となっている。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
“愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

(ユニット名)

クレセント堀江

記入者(管理者)

氏名

二宮 美保

評価完了日

平成 20 年 1 月 12 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 開設時に作成したものであるため 穏やかな生活を基本にして作成したものである。	※	地域を交えた理念に作りかえる時期である。
			(外部評価) 開設当初の理念を職員で話し合い、具体的にわかりやすくしてホーム独自の理念としており、管理者及び職員は日々のケアに活かしている。	※	管理者及び職員は地域の中で利用者を支えていくことを理解しており、これまでの理念に加えて、地域についての理念も今後話し合う予定にしている。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 常に目に入る所に掲示して理念にもとづいて 取り組むようにしている。		
			(外部評価) 理念は事務所と居間に、誰でも見られるように掲示している。また習字の上手な利用者が書いた理念も掲示している。管理者及び職員は理念を共有し、理念の実践により利用者の日々の暮らしを支えている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) 理念を見やすいところに掲示している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 近所の子供たちが犬を見に来たり、散歩中に声をかけてもらったり また、まもるくんの家にも指定されており、小学校、保育園、推進会議のメンバーの方を通して広がってきている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 町内会に入り、地域の方と海岸の掃除を一緒にしたり、運動会、秋祭り等参加させてもらって交流を深めている。 (外部評価) ホームは町内会に加入し、地域行事（運動会、秋祭りなど）に参加したり、地域の清掃をするなど、地域住民としての役割も担っている。地域住民にもホーム行事に参加してもらっている。また小学生や保育園児との交流もあり、まもるくんの家にも指定されている。AED（自動体外式除細動器）も設置しており、24時間貸し出し可能としている。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議で独居老人の見守り隊に加わる事等、話合ったが、今の所は実施していない。いろいろ難しいこともある様だが、実現させたい。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) ミーティングでサービス評価の意義や目的を全職員に伝え 協力を得ると共に外部評価の結果を伝え改善に向けて努力している。 (外部評価) 管理者及び職員は評価の意義を理解しており、自己評価は管理者が職員の意見を聞いてまとめている。外部評価の改善項目については職員と共に取り組み、改善を図り、質の向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議で利用者やサービスについての報告を行い、話し合いながらサービスの向上案を実施し、また、その内容を報告し、改善したりしている。 (外部評価) 会議には利用者及び家族、地域住民、地域包括支援センターの職員などが参加している。議題は利用者やホームの状況、行事内容の報告、提案された議題等について話し合いを行っており、出された意見をサービスの向上に活かしている。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 夏祭りや運動会時のような行事にも来て頂き、様々な提案をして頂いている。また、介護保険更新時などできる限り 利用者と一緒にいき 情報を提供してもらっている。 (外部評価) 運営推進会議以外では、夏祭りなどのホーム行事にも参加してもらっている。利用者の要介護更新認定等の際にも訪ねている。	※	さらに市担当者にホームの実情や取り組み状況などを伝えたり、課題を相談するなどして、市との連携強化を図ることを期待したい。
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 成年後見制度について研修に参加し、話し合いで、必要とした利用者について実際に申請を行い、後見人をつけた。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) ミーティング等で他施設の職員や本施設職員で意見交換をし、防止に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時に十分な説明を行い、理解、納得を得ると共に分からない事は心おきなくいつでも相談できるようなふいんきづくりをしている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 常に利用者の声を聞き問題への解決に努めている。何かあればすぐに対処できるような体制もできている。また、外部の苦情窓口もわかりやすく表示している。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月施設便りで報告したり、面会時に話をしたり金銭管理については小遣い帳に記入し毎月レシートと一緒に掲示しサインをもらっている。 <hr/> (外部評価) 毎月の請求書と共に、ホーム便りを送っている。また家族の訪問時には、利用者の日々の暮らしぶりについて話をしている。金銭管理については、毎月家族に報告すると共に領収書を渡し、サインをもらっている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情受付窓口・意見箱の設置により苦情を出しやすくと共に、外部の苦情窓口もわかりやすく表示している。苦情があればそれを改善報告し対処できるようにもしている。 <hr/> (外部評価) 重要事項説明書に、ホーム内及び公的な苦情相談窓口を明記している。また家族の訪問時にも話を聞いたり、ホームの玄関にも意見箱を設置し、意見を出してもらえるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 定期的にミーティングを行い職員の声を聞き入れ、よりよい施設をめざし 努めている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 常勤、パートの人材確保により勤務状態は確保されている。勤務表も無理なく仕事ができるよう 休み希望を考慮して 1～2週間単位で作成している。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 定期的に悩みを聞き異動や離職を最小限に抑える努力をしている。 (外部評価) 離職はあまりなく、法人内の人事異動はあるが、利用者も法人内の他のグループホームと交流があるため、職員と顔馴染みとなっており、不安はあまりみられていない。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 個々に応じた勉強会への参加や講習会への呼びかけを行っている。参加した場合は記録し全員が見られるようにしている。 (外部評価) 管理者及び職員は、希望や段階に応じて積極的に研修に参加している。研修は勤務扱いで、費用は運営者が負担している。また参加者は研修内容報告書を作成し、全員に周知している。管理者及び職員は資格取得にも積極的に、質の向上に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 地域の同業者と互いに施設見学を行いネットワークを持ち、お互いの事業と協力しあえるよう検討中	※	地域の同業者との交流や勉強会をもつことが今後の課題である
			(外部評価) 法人内の他のグループホームと交流があり、合同行事や研修の機会をつくり、お互いに質の向上に取り組んでいる。	※	法人外の同業者とも積極的に交流する機会をつくり、連携や研修会などを行い、さらに質の向上に取り組むことを期待したい。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 職員のストレスや悩みを把握するよう努めると共にグループ内施設との交流・親睦の場や行事、旅行をもうけている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 職員の資格取得に向けた支援をして頂き取得後は活かせるようにしていただいている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 事前面談で状況を把握すると共に本人・家族・に施設を見て頂き納得し入所生活を始めてもらう。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 事前面談で入所を考えるまでの経緯をゆっくり聞く事により家族の思い、本人の要望や求めているものとの違いを把握した上で受け止める努力をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 状況を把握し何が必要かを見極めグループホームではない場合は、別のサービスの説明や事業所紹介も行っている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) どのようにすればスムーズに生活に馴染めるかを家族と事前に相談し何度か来所を繰り返してから入所する等の工夫を行っている。 (外部評価) サービスを始める前に、ホーム側から利用者を訪問している。また家族に来てもらってホームを見てもらい、利用者が馴染めるように相談している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) いろいろな事を教えてもらったり、支援する側 される側と言う意識をもたずお互いに助けあいながら和やかな生活ができるよう心がけている。 (外部評価) 職員は利用者と一緒に過ごす中で、豊かな経験の話を聞くことにより、学ぶことや教えてもらうことも多く、お互いが支えあう関係を築いている。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 来所時は相互に情報交換し小さな変化もお互いの喜びとし本人が安心して生活できるよう支えていく関係を作っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 来所時等で関係の理解が深められるようお話しを聞かせて頂いたり、良い関係が築ける為の依頼等は心良く受けるようにしている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 電話や便りを利用し今までの関係が途切れないよう支援している。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 楽しく過ごせる機会や気の合う者同士で過ごせる場面作りをしている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 契約終了後でも必要とする利用者や家族には互いに連絡したり面会したりして相談に応じている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の声かけ見守りの中で、また 家族との話し合いの中で思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。 (外部評価) 日々の暮らしの中で、利用者の話をよく聞いたり、また家族の訪問時にも話をして、本人や家族の思いや希望を把握するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) センター方式を活用したり日常生活の中で本人や家族から情報収集し職員みんなが共有し把握に努めている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 日々の記録の活用や職員間で意見交流を図り把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) できるかぎり介護保険更新時に家族に同席して頂き、状態を把握していただくと共に本人、家族の意向を聞き介護計画を作成している。 (外部評価) 本人や家族の希望や思いを聞いたり、職員の気づきや意見を出し合って話し合い、一人ひとりにあった具体的な介護計画を作成している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 定期的な見直しをモニタリング、カンファレンスを行って現状に応じた計画を作成している。また、今までにない変化があった場合はその都度話し合い計画変更を進める。 (外部評価) 定期的な見直し時には評価を行い、記録に残している。利用者の状況が変わればその都度話し合い、現状にあった介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々の記録に話してくれたこと 職員の工夫等詳しく記入し見直しに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 本人 家族の状況に応じ通院や買物など必要な支援は対応しサービスを高めるよう努力している。 (外部評価) かかりつけ医の受診時に家族が付き添えない場合や、通院のリハビリテーションや買い物など、利用者一人ひとりに合わせて無料で送迎を行っている。また、医療連携体制加算の指定を受けている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 運営推進会議に参加してもらい協力してもらえるよう働きかけをしている。	※	今後もっと連携がとれるようにしていきたい
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 希望がある場合はサービス事業者と相談し利用できる体制は作っているがまだ利用している人はいない。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議に参加してもらいいろいろな情報交換・協力関係ができる様になった。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 協力医療機関との連携体制により定期健診や必要に応じて受診等行っている。 (外部評価) 本人や家族の希望するかかりつけ医を受診してもらっている。またホーム内には様々のリハビリ機器が設置されており、協力医療機関の医師や理学療法士のアドバイスにより機能訓練を行っている。糖尿病がある利用者に対しては定期的に検査も行っている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 協力医療機関との連携体制により連絡をみつにとり必要に応じて専門医を紹介して頂いている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 職員の看護師が日常の健康管理を行い異常があれば協力医療機関と連携し訪問看護・リハなど支援している。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時はお見舞い、洗濯ものの家族の手助け等をおこなって頻りに職員が交代で出向き本人へ安心感を与えと共に医療機関と連絡を密にしている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 看取り指針を作成しており入所時に重度化した場合について説明をしている。実際に重度化した場合は主治医と相談し計画を変更するようにするがその指針についても勉強会を行っている。 (外部評価) ホームとして「状態悪化時の対応」「看取りに関する指針」を定めている。入居時に本人及び家族に説明を行い、同意をもらっている。状態の変化に応じてかかりつけ医と相談し、本人や家族の意向に沿った対応を行うために職員の教育も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 協力医療機関の強力なサポートがあるためいつでも相談できる。協力医療機関の医師、スタッフ、と共にチームとしての支援にとりくんでいる。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 他院や他施設等に移られる場合情報を共有し、きめ細かな連携を心がけている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) ミーティングの時利用者一人一人の状況を共有し、誇りやプライドを傷つけないよう対応の徹底を図っている。 (外部評価) 職員は、利用者に対して同じ目線で声かけや対応をしており、食後の歯磨きやトイレの誘導もさりげなく行われている。個人情報の取り扱いには配慮しており、記録等は事務所で適切に管理している。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 服を選んだり買いたいものを自分で選んだり等選択は利用者本位で行われるよう支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 利用者のペースをつかむと共に希望を優先しながら協力もしてもらいながら支援している。 (外部評価) ホームの基本的な1日の流れはあるが、利用者はその日の自分の体調や気分により、リハビリ機器を使って運動したり、マッサージしたり、テレビを見たり、雑誌を読んだり、日向ぼっこをしたりと、それぞれのペースで過ごしている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 個々の個性にあわせた対応を心がけている。家族さんと行きつけの美容室に行ったり通信販売を利用したり様々である。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) できるかたには準備、片付け等の協力を自主的にしていただいている。 (外部評価) 季節によっては畑で採れる新鮮な野菜も使っている。調理は利用者にてできることをしてもらったり、後片付けは朝、昼、夕と分担が決まっている。職員も介助が必要な人の横でさりげなくサポートしながら一緒に食べている。食事は利用者の楽しみの1つとなっている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 現在タバコをすう利用者はいないが、コーヒー等好きな利用者には量を考える等しながら、楽しめるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェック表を使用し 一人一人のパターンの把握に努めている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) できるだけ希望にそえるような対応に心がけている。 (外部評価) 本人の希望する時間に自由に入ってもらっている。毎日入浴する人もいるが、希望や体調を確認しながら週に3回は入れるよう声かけを行っている。入浴に拒否がある方は今の所いない。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 昼夜逆転しないようなるべく日中の活動を促し、生活リズムを整えている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 利用者一人一人の得意分野を把握し、できることはして頂き、楽しみながら生活していただけるよう支援している。 (外部評価) 掃除、洗濯物干し、食後の食器洗いやテーブル拭きなど、利用者にしてできることを職員と一緒にしてもらっている。またテレビを見たり、習字、オセロ、カラオケを楽しんだりしている。散歩や地域行事への参加、ホーム内行事も季節ごとに楽しめるように計画して、楽しみを支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 本人や家族の希望を考慮し、買物等の機会を作り支援している。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 犬との散歩の声かけや買物等の機会を作り支援している。 (外部評価) 天気の良い日や暖かい日には犬との散歩を楽しんだり、海岸を散歩したり、買い物に出かけたりしている。地域行事への参加や、他のホームとの交流など、外に出かける機会をつくっている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) マイクロバスを利用しての外出等も家族の方にも参加を促し、支援している。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話がかかってきた時は、静かな場所で話せるよう支援したり 手紙のやりとりも出来るよう支援している。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) いつでも自由に尋ねていただけるよう配慮している。お茶をだすなど居心地のよい空間作りを心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) スタッフ一人一人が十分理解した上で介護を行っている。ただし、生命の危険の伴う方については家族の理解を頂き、その時の同意書 説明書も準備している。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中かぎをかけることなくオープンにしている。自由に出入りできるようにしている。 (外部評価) 利用者の自由な暮らしを大切に、玄関はいつでも出入りができるようになっており、鍵はかけられていない。職員の見守りで十分対応できている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 声かけ、見守りをし常に利用者の所在、安全に配慮をしている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 利用者の状況に応じて管理の方法を取り決め対応している。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 一人一人の状態を把握し危険なもの そうでないものを判断し 個々に応じた対応をしている。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) マニュアルを作り新人入社時や一年に最低一回は勉強会をしてスタッフ全員が対応できるようにしている。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 定期的な訓練を行うと共に推進会議で地域の方の協力が得られるよう働きかけをしている。 (外部評価) 定期的に消防署の協力を得ての訓練や、夜間を想定した訓練も行っている。緊急時の連絡方法も掲示している。またホームの上の階は法人他施設の住居となっており、協力体制ができています。	※	町内会や運営推進会議などで地域の協力を得る働きかけを行い、地域住民の参加や協力を得た訓練実施を期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) 一人一人に起こり得るリスクについて家族に説明し抑圧感なく暮らせるよう話しあっている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 普段の状況を把握しいつもと違う場合等はすぐに対応できるような体制作りをしている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 一人一人の服薬の目的 用量等 スタッフ全員が把握できるように一覧表にしてわかるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 野菜中心の食事を心がけたり 運動量や水分量に気をくばりできるだけ薬に頼らない方法を心がけている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後の口腔ケアと就寝時に義歯を洗浄剤に入れている事を習慣づけている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一人一人の量の把握をし バランスの良い食事作りを心がけている。食事量は記録している。 (外部評価) 利用者の希望を聞いて、職員が栄養バランスに配慮した献立を考えている。調理方法も工夫しており、食事摂取量も記録している。カロリー等は、法人内他施設の栄養士にいつでもチェックしてもらえるようになっている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している (インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 各感染症の勉強会をし 予防 対策に努めている。利用者 家族に同意を頂き インフルエンザの予防接種を受けたり対応している。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 台所 まな板 ふきん等は毎日漂白し 清潔に心がけている。冷蔵庫の点検 掃除をまめに行い 衛生面に気をつけている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関に花を植えたり気軽にきてもらえるように支援している。門は日中は常にあけている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 玄関やリビングのTVのうえに季節に応じた物を飾ったりまた 落ち着いて過ごせるようにしている。 (外部評価) 季節を感じさせるものを置いたり、ソファは数名で仲良く座れるように配慮し、また玄関や廊下にもいすを置いて自由に過ごせる場所を確保している。昼食後に部屋に帰る人もあまりおらず、居間で他の利用者と一緒に楽しんでいる。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 廊下の所どころにイスやソファを置き日なたぼっこをしたりして過ごせるようにしている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 自由に持ち込みをして頂き 過ごしやすい空間作りに努めている。 (外部評価) 居室の名札は利用者それぞれ違い、保育園児の手作りも掛けられており、間違える人はいない。居室内は家庭で使い慣れた筆筒やいす、愛用品などを持ち込み、その人に合った飾り付けもされており、個性のあるその人らしい空間となっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 温度 湿度はこまめにチェックし 換気 調整に十分配慮している。必要時には加湿器 空気清浄機の使用もしている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 手すりや トイレの手すりの設置等により 自立に向けた生活が送れるよう支援している。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 認識間違いや理解力低下により 不安や混乱 失敗が生じた場合にはみんなで話しあい安心して生活できるよう支援している。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 自由に散歩したり 犬と遊んだりできるようにしている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価)	① ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日常生活の中で声かけ見守り 日々の利用者の思いを汲み情報を共有している。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価)	① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	食事やお茶を共にし 会話する時間を大切にしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価)	① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	声かけをし一人一人のペースで暮らせるよう心がけている
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価)	① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	できることはして頂きいきいきとした表情が見られる
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価)	1 ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	個々には買物 最低月2回程は全員ででかけられるよう支援している
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価)	① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	協力医療機関があり医師や看護師 PTの定期的な訪問も行われ不安を専門家に相談する事ができている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価)	① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	時々状況や要望に応じ食事、入浴 レクリエーション等の日常生活について柔軟な支援に心がけている
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価)	1 ほぼ全ての家族と ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	本人及び家族と面会時に話をもち可能な限り応えられるよう配慮している
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価)	1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない	運営推進会議のメンバーの方や近所の方が犬を見にきています。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大に増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	推進会議の回数を重ねるごとに地域住民や地元の方との輪が広がっている。
98	職員は、生き活きと働いている	① ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	悩みや相談があれば聞き入れるようにはしている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日常生活の支援 相談 健康面 リハビリ 外出を行い利用者の表情 反応からみて満足していただいていると思う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会時にはいろいろと話す機会を持つよう心がけておりその際 家族に応じて難しい援助もできることはさせてもらって喜んで下さっている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

協力医療機関の支援 指示により日々のリハビリに力を入れADL QOL の維持 向上に努めている。 マイクロバスで利用者と外出の機会を持ち また 季節ごとの行事を楽しんだりして生活にはりがもてるようにしている。 開設6年目を向かえ地域の方との顔なじみも増え輪も広がってきている。 環境のよさ 特に目の前がうみで整備された砂浜